

在スロバキア日本国大使館
政治・経済月報（2019年5月）

目 次

内 政

◆カメニツキー新財務相の任命	2
◆政党支持率調査結果	2
◆欧州議会選挙	2

外 政

◆ペレグリニ首相の訪米	4
◆ル・ペン仏国民連合党首等のスロバキア訪問	4
◆ペレグリニ首相のOECD閣僚理事会出席	4

社 会

◆スロバキアにおけるアイスホッケー世界選手権の開催	5
◆ブラチスラバ市内における刃物による傷害事件	5

経 済

◆中国関係に関するシェフチョヴィチ欧州委員会副委員長のインタビュー	5
◆失業率最低記録の更新	6

別添：主要経済指標

※本月報は公開情報を在スロバキア日本国大使館がとりまとめたものです。

内 政

◆カメニツキー新財務相の任命（7日付TASR通信）

5月7日、キスカ大統領は、カジミール前財務相のスロバキア国立銀行総裁への転出に伴い、カメニツキー国会議員（Smer-SD選出。国会財政・予算委員長）を新財務相に任命した。4月9日、ペレグリニ首相が、カメニツキー議員を次期財務相に指名していた。カメニツキー新財務相は、「健全な公共財政の維持及び脱税対策が、財務相としての優先事項である」と述べた。

◆政党支持率調査結果（9日）

世論調査機関AKOによる5月の政党支持率調査の結果は以下のとおり。極右政党LSNSが2位につけているが、3位のPS/Spolu及び4位のSaSとの差は僅かである。

政党	AKO	2016年選挙
Smer-SD（方向・社会民主主義）	19.1%	28.3%
LSNS（我々のスロバキア）	13.9%	8.0%
PS/Spolu（プログレッシブ・スロバキア／共に）	13.7%	—
SaS（自由と連帯）	13.1%	12.1%
OLaNO（普通の人々・独立した人達）	9.2%	8.6%
Sme rodina（我々は家族）	8.3%	6.6%
SNS（スロバキア国民党）	8.0%	8.6%
KDH（キリスト教民主運動）	6.6%	4.9%
Most-Hid（架け橋）	5.0%	6.5%

◆欧州議会選挙（27日付スメ紙）

25日、スロバキアで欧州議会選挙が実施されたところ、政党連合「プログレッシブ・スロバキア（PS）／共に（Spolu）」は、20%以上の得票率を獲得し、同選挙に勝利した。連立与党第1党の「方向-社会民主主義（Smer-SD）」は、15.7%の得票率に留まり、2位となった。Smer-SDが主要議会選挙（国会総選挙、欧州議会選挙）で1位の座を失うのは、2004年欧州議会選挙以来のことである。連立与党第2党「スロバキア国民党（SNS）」及び同第3党「架け橋（Most-Hid）」は、今次選挙で議席を獲得することができなかった。連立与党3党は、3党合わせて20%強の得票率しか獲得することができなかった。

「我々のスロバキア（LSNS）」は、スロバキアの極右政党として初めて欧州議会の議席を獲得した。LSNSは、これまで参加した主要議会選挙の中

で最も高い得票率（約12%）を獲得したことから、極右勢力が増長しているとの見方もある。

スロバキアの投票率は22.74%であり、前回選挙（13.05%）よりも10%近く上昇したが、2004年欧州議会選挙より4回連続で、EUで最も低い投票率となった。

●議席を獲得した政党

政党	得票率	議席数
PS/Spolu(プログレッシブ・スロバキア/共に)	20.11%	4
Smer-SD (方向・社会民主主義)	15.72%	3
LSNS (我々のスロバキア)	12.07%	2
KDH (キリスト教民主運動)	9.69%	1+1
SaS (自由と連帯)	9.62%	2
OLaNO (普通の人々・独立した人達)	5.25%	1

●当選議員名

1 PS/Spolu (4 議席)

- (1) シメチカ (Mr. Michal Simecka) PS副党首
- (2) ヴィエジク (Mr. Michal Wiezik) 氏 (大学教員)
- (3) ホイシーク (Mr. Martin Hojsik) 氏 (環境コンサルタント)
- (4) ビルチーク (Mr. Vladimir Bilcik) スロバキア外交政策協会研究所 (SFPA)

研究員

2 Smer-SD (3 議席)

- (1) ベニョヴァー (Ms. Monika Benova) 欧州議会議員 (3期)
- (2) チージュ (Mr. Miroslav Ciz) 国会議員 (国会のSmer会派副代表)
- (3) ハイシェル (Mr. Robert Hajsel) 駐スロバキア欧州議会事務所所長

3 LSNS (2 議席)

- (1) ウフリーク (Mr. Milan Uhrik) 国会議員
- (2) ラダチョウスキー (Mr. Miroslav Radacovsky) 元裁判官

4 KDH (1 議席+1 議席 (※))

- (1) シュテファネツ (Mr. Ivan Stefanec) 欧州議会議員 (1期)
- (2) レクスマン (Ms. Miriam Lexmann) 氏 (保守系哲学者) (※欧州議員就任は英国のEU離脱後)

5 SaS (2 議席)

- (1) ニコルソノヴァー (Ms. Lucia Duris Nicholsonova) 国会議員, 元労働相
- (2) ユルジツァ (Mr. Eugen Jurzyca) 国会議員

6 OLaNO (1 議席)

(1) ポラーク (Mr. Peter Pollak) 元国会議員 (スロバキア初のロマ系欧州議員)

外 政

◆ペレグリニ首相の訪米 (3日付首相府プレスリリース)

3日、ペレグリニ首相はワシントンDCにおいて、トランプ米大統領と会談を行った。同会談には、ポンペオ国務長官、ボルトン国家安全保障問題担当大統領補佐官、ナヴァロ通商問題担当大統領補佐官、ノークイスト副国防長官等の米政府高官も出席し、主に国防、安全保障、北大西洋協力の強化、米国・EU間の貿易関係、投資及びエネルギー問題について話し合った。ペレグリニ首相は、「トランプ大統領及び米政府高官に対して、米国による輸入関税の引き上げがスロバキア経済及び他の中欧自動車生産国に与える影響について、明確に指摘した」と付言した。

ペレグリニ首相は、トランプ大統領の最初の野球コーチがスロバキア出身であることに関連し、野球バットを贈呈した。メラニア夫人に対しては、中央スロバキアの民族衣装を贈呈した。

◆ル・ペン仏国民連合党首等のスロバキア訪問 (13日付TASR通信)

13日、ブラチスラバにおいて、野党「我々は家族 (Sme rodina)」主催による「国家と自由の欧州 (ENF)」会議が行われ、ル・ペン仏「国民連合」党首、クラニディオティス・ギリシャ「新たな右派」党首、マイヤー欧州議員 (オーストリア「自由党」所属)、コラル「我々は家族」党首等が出席した。ENFを創設したのは、サルヴィーニ副首相兼内務相である。今年2月、我々は家族」はENFに加盟していた。

ル・ペン国民連合党首は、「欧州は抜本的な政治改革を必要としている。人々は、国家の存在や意見を拒否しているEUを受け入れていない。欧州議会で、国家とグローバル化のバランスを回復させることが重要となる」と述べた。

◆ペレグリニ首相のOECD閣僚理事会出席 (22日付首相府プレスリリース)

22日、ペレグリニ首相は、パリで行われたOECD閣僚理事会 (MCM) に出席し、「人々がテクノロジーの奴隷となってはならない。テクノロジーは、人々のためにあり、生活を豊かにし、より良い情報とサービスを提供するためにある。富がバーチャル世界において作り出されているという事実、スロバキアも対応していかなければならない」と述べた。

スロバキアのOECD閣僚理事会議長国としての優先事項は、持続可能な開発に向けたデジタルトランスフォーメーションの活用である。ペレグリニ首相

は、「デジタル・ヒューマニズムの制度化、すなわち、デジタル空間におけるルール作りについて議論する必要がある」と述べた。OECD及びパートナー国は、ITに関する勧告書を採択し、ITシステムの安全性と信頼性を確保するための国際スタンダードを遵守していくことに賛同した。

社 会

◆スロバキアにおけるアイスホッケー世界選手権の開催（10～26日）

10～26日、スロバキアのブラチスラバ及びコシツェにおいて、男子アイスホッケー世界選手権が開催された。スロバキアで同選手権が開催されたのは2011年以来のことである。フィンランドが、通算3度目の優勝を果たし、2位はカナダ、3位はロシアとなった。前回フィンランドが優勝したのは、奇しくも2011年スロバキア大会であった。

開催国スロバキアは、初戦で強豪米国を破った他、フランス、英国、デンマークに勝利したものの、フィンランド、カナダ、ドイツに敗れ、グループリーグ突破はならなかった。スロバキアは2002年のスウェーデン大会で唯一の優勝を経験している。

世界選手権期間中、スロバキアには約15万人の外国人サポーターが訪問したと見られており、ブラチスラバ及びコシツェの宿泊施設はほぼ満室状態となった。

◆ブラチスラバ市内における刃物による傷害事件（31日付 TASR 通信）

31日午後、刃物を持った男が財務省への進入を試み、同省職員をナイフで刺した後に、ブラチスラバ市中心部に移動した。同省職員は病院に搬送されたものの、意識ははっきりしている。

その後、男は、Obchodna 通りでナイフを持ち暴れたため、駆けつけた警察官に拳銃で撃たれ病院に搬送され、意識不明の重体となっている。また、警察官の流れ弾に当たった15歳の少女も負傷したが、命に別状はない。

（注：報道によると、内務省は、警察官による拳銃の使用が適切であったかどうかについて、調査を進めている。また警察は、Obchodna 通りでの犯罪件数が増加していることを踏まえ、同通りに交番を設置することを検討している。）

経 済

◆中国関係に関するシェフチョヴィチ欧州委員会副委員長のインタビュー（7日付プラウダ紙）

欧州委員会を代表して第2回「一带一路」国際協力ハイレベルフォーラムに出席したシェフチョヴィチ欧州委員会副委員長（エネルギー連合担当。スロバ

キア出身)は、プラウダ紙の取材に対して以下のように述べた。

「EUにとって重要なのは、中国に進出した欧州企業が、欧州に進出している中国企業と同じ条件で、市場へのアクセスを確保することである。『新シルクロード』構想については、各プロジェクトの経済的持続性、環境への影響、地元住民の立場に基づく計画の受入れ、(中国人ではなく)欧州人のための雇用創出に係る問題が、3月に行われたEU中国定期首脳協議でもテーマとなった。習近平国家主席は、第2回『一带一路』国際協力ハイレベルフォーラムにおいて、持続可能性、環境保護、透明性を重視する旨約束した。我々は、中国の今後の具体的な行動を注視していく。」

「V4諸国は、中国にとって重要なビジネスパートナーである。中国は、V4諸国の潜在性を認識している。中国と欧州を結ぶ6本の交通回廊のうちの数本は、中欧を通ることになる。スロバキアも、この交通ネットワークに加わる可能性がある。」

「中国は欧州にとって、パートナーであると同時にライバルでもある。中国の急速な経済成長を踏まえ、EUは競争力を維持するために、より戦略的に行動すべきである。例えば、EUは、高性能の自動車を生産するだけでなく、今後主流となる電気自動車(EV)の生産にも力を入れる必要がある。現時点では、欧州で生産されているEV電池は3%に過ぎず、85%はアジアで生産されている。」

◆失業率最低記録の更新(21日付経済新聞)

労働局によると、4月の失業率は4.9%(登録ベース)となり、1989年の社会主義崩壊以降初めて5%を下回った。失業者は13万5000人であり、求人数は9万1000人となっている。

雇用者団体連盟(AZZZ)のシュパーニコヴァー氏は、労働市場の逼迫を指摘するとともに、「労働市場の需要と供給が一致しておらず、新規従業員に対する教育が企業の負担となっている」と述べた。人材派遣会社によると、最も求人数が多いのは製造業である。またスロバキア統計局によると、労働需要が最も上昇しているのは建設業と宿泊業である。

郡別の失業率は以下のとおり。

(1) 失業率が低い地域

トレンチーン郡(トレンチーン県) : 1.7%

シャリヤ郡(ニトラ県) : 1.8%

ブラチスラバ5区(ブラチスラバ県) : 1.9%

フロホヴェツ郡(トルナバ県) : 1.9%

ピエシュチャニ郡(トルナバ県) : 2.0%

ガラಂತ郡（トルナバ県）：2.0%

（2）失業率が高い郡

リマウスカー・ソボタ郡（バンスカー・ビストリツァ県）：16.0%

ケジュマロク郡（プレシヨウ県）：15.3%

レヴーツァ郡（バンスカー・ビストリツァ県）：13.9%

ロジュニャバ郡（コシツェ県）：13.8%

ヴラノウ・ナト・トプリヨウ郡（プレシヨウ県）：12.7%

トレビシヨウ郡（コシツェ県）：11.4%

（了）

スロバキア主要経済指標

(出典:スロバキア統計局)

